

電気通信大学

低学年次でのワークショップ形式によるキャリア教育の事例報告

電気通信大学においては、実践教育科目に属する倫理・キャリア教育科目としてキャリア教育を設置している。2020年度入学生では10科目が開講されている。卒業要件として4単位以上の修得が必要であり、4単位以上が修得された場合、共通単位に換算される。ここでは、1年次前期開講のキャリア教育基礎、および2年次後期開講のキャリアデザインで行っている、低学年次のアクティブラーニングを主体とキャリア教育の事例を報告する。

1年次 キャリア教育基礎

キャリア教育基礎では、学生の将来の方向性を考える基礎的なキャリア概念の修得とともに、大学生として必要となるアカデミックリテラシーの修得を目指している。

キャリア概念の修得としては事業所見学(2020年度はオンラインで実施)を主として実施している。事業所見学とは、事前に企業研究ワークショップを行い、企業等に移動したのち、事業内容などの説明や企業等内の見学を行い、本学卒業生を中心とした若手社員との懇談会を行うものである。準備段階として、「企業を知る」講義や、「働くこと」について考える講義を行っている

アカデミックリテラシーでは「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4スキルの向上をねらっている。具体的には右記

読む	図書館実習
書く	文章の書き方 講義レポートのレビュー
話す	グループワークのしかた 発表のしかた
聴く	聴くロールプレイ

の取組みを実施しており、ワークショップ形式の講義の中で実践とフィードバックの場を多く設けている。同時に学年横断講義も実施しており、3年生との合同講義ワークショップや、講義に入る学生TAから大学生

2年次 キャリアデザイン

キャリアデザインでは半期の講義を通じて、キャリアデザインマップを作成する。キャリアデザインマップとは、本学独自のものであり、学生個人のキャリアビジョンとともに、10年後の姿、および大学卒業(大学院修了)時点でのあるべき姿を作り、そこに至るまでの具体的な行動計画を言語化させるものである。



履修者の推移

入学年度	入学者数	1年次 キャリア教育基礎 履修者数	2年次 キャリアデザイン 履修者数
2016	729	594	213
2017	715	260	218
2018	722	285	197
2019	753	298	187
2020	720	256	---

※2016年度のキャリア教育基礎の履修者は改組による影響により例年より枠を広げた

キャリア教育を支えるインフラ

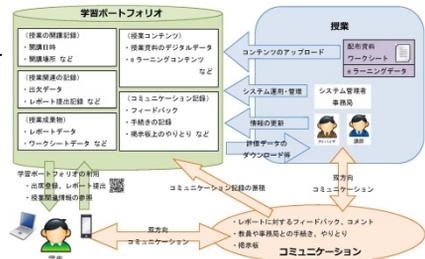
特任講師制度

特任講師は民間企業等の経験がある方を教務補佐員教育ボランティア(学内での呼称は特任講師)として任用している。2020年度は24名に参画いただいた。

特任講師の役割は、ワークショップ講義におけるグループワーク等のファシリテーション及び毎回の講義後に学生から提出される講義レポートへのコメントフィードバックである。担当学生数は最大20名としており、講義内外でのきめ細やかな指導を可能とさせている。担当教員とのFDを毎回の講義の前後で実施しており、教育レベルの維持発展を行っている。ただし、履修者数は確保できている特任講師数に依存せざるを得ない部分がある。

eポートフォリオシステム(@Univ)

独自のeポートフォリオシステム(本学においては,@Univと呼称。以下システム)を使用している。システムはあくまでも講義外における学生とのコミュニケーションの補完を主眼としたものである。保持している主なデータは、講義情報(日時・場所等)講義コンテンツ(配布資料等・講義動画)、講義関連の記録(学生の出欠・提出データ等)、講義成果物(講義レポート・ワークシート等)、コミュニケーション記録(フィードバック・コメント・掲示板のやりとり等)である。



ワークシートの活用

講義では、事前学習用ワークシートを前週に配布し記入を課している。事前学習用ワークシートの内容を基にしたグループワーク等アクティブラーニングを実施し、講義用ワークシートに実施した内容を記入する。

ワークシートは学生毎にQRコードで管理しており、ワークシートをスキャン後、速やかにシステムにアップロードする仕組みを構築している。学生は講義当日の午後からシステム上から参照することが可能であり、翌日までに提出する講義レポートの作成に活用している。

電気通信大学共通教育部キャリア教育部会
特任准教授 松木利憲
matsuki@uec.ac.jp

電気通信大学キャリア教育
<http://www.career.ce.uec.ac.jp/>

